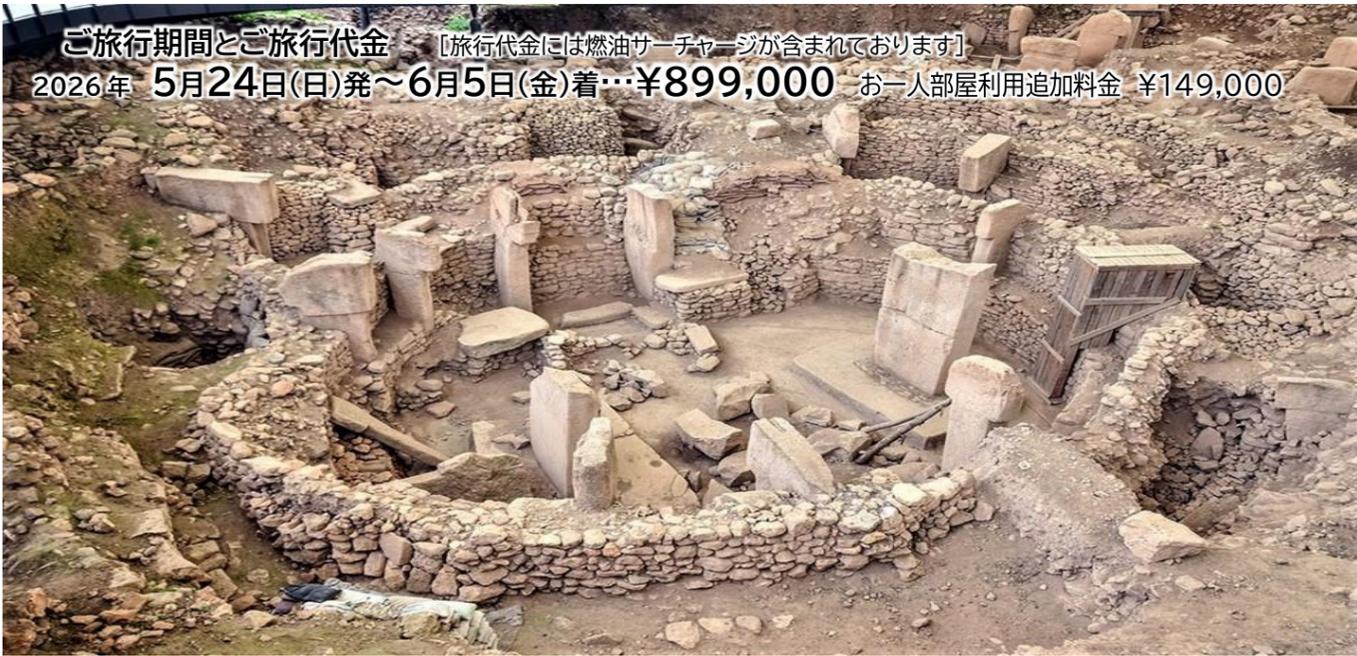


連泊3回でお身体に優しい日程にしました

千歳発着13日間

東トルコ周遊～ネムルート山、アララット山と 謎のギョベクリ・テペ、カラハン・テペの旅



ご旅行期間とご旅行代金 〔旅行代金には燃油サーチャージが含まれております〕
2026年 5月24日(日)発～6月5日(金)着…¥899,000 お一人部屋利用追加料金 ¥149,000

『世界最古の歴史』を覆す ギョベクリ・テペ

ギョベクリ・テペはトルコ南東部のアブラハムゆかりの町・シャンルウルファ郊外の丘の上に位置し、1994年にドイツの考古学チームによる本格的な発掘調査が始まりました。その結果、巨大なT字型の石柱が見つかり、付近には高さ15m、直径300mの大規模な遺跡群がある事も判明しました。それは地球上で最古の高度な文明であると考えられ、それまで世界最古の文明といわれていたメソポタミア文明よりも7千年以上も古い文明の遺跡であることが判明しました。一番古いものは今から1万5000年前に建造された物として認められています。エジプトのピラミッドでさえも7000年前の建造物です。(日本を除く)世界最古の農耕、畜産、土器よりも古いこととなります。ギョベクリ・テペはその後、土砂に埋まったり、崩れた建造物の上に新たな建造物が造られたりを繰り返し、最終的には紀元前8000年頃に人為的に埋められました。その理由は不明ですが、そのお陰で遺構は現在まで保存されることとなりました。

石柱や石壁にはライオンやシカなど動物の姿が数多く刻まれています。これは狩猟の成功を祈ったものと考えられます。今は荒地ですが、当時は動物も多く生息する緑豊かな土地であったと思われる。生贖信仰の痕跡があり、ギョベクリ・テペは神殿遺跡であるという説が有力です。農耕文明が始まる前にすでに宗教文明が存在していた！これはこれまでの世界史の定説を覆しています。この壮大な神殿を造るのに長い年月が必要で、通常周囲には建築に携わった人たちの生活痕があるはずですが、まだここでははっきりとした住居跡は今のところ発見されていません。近くに確かな村落の跡が見られないことは、ギョベクリ・テペ遺跡の最大の謎です。あまりにも古すぎるため、生活痕は完全に風化してしまったのだと唱える学者もいます。ただし、発掘は全体の5%ほどしか進んでいないため、これからの発見にも大きな期待が寄せられています。世界最古の建造物「ギョベクリ・テペ」は、2018年に世界文化遺産に登録されました。

2023年9月、石灰岩で出来た等身大のイノシシ像がH字型のシンボル、三日月、2匹のヘビが3人の人間の顔(または仮面)で飾られたベンチの上で発見されました。彫刻の表面には赤、白、黒の顔料が残されており、この時代から現代までに発見された実物大の彫刻としては初めてのものです。

神秘のネムルート山

ネムルート山(ネムルット・ダー)は、トルコ東部にある有名な山です。1987年には世界文化遺産にも登録されました。

紀元前からこの地にある遺跡には、ギリシャ神話の神々であるゼウスやアポロ、ヘラクレスなどの巨大な頭部だけの石像群が鎮座しています。このような、訪れる人を圧倒させるネムルート山頂の光景は、“世界8番目の不思議”ともいわれています。

世界遺産のネムルート山は、トルコ東部の標高2150mに位置する山で、頂上になんとも不思議な遺跡があります。直径約15m、高さ約49mの山頂は人工的に造られたピラミッドのようになっており、その側面に頭部のない石の座像が並んでいます。頭部だけで約2mはある巨像だったようです。座像の下には、ゼウスやアポロ、ヘラクレスなど、おそらく座像に乗っていたと考えられる石像の頭部が並んでいます。

ベルジャ風の帽子をかぶったギリシャ神話の神々の頭部からうかがうに、これらの石像はアレキサンダー大王の東方遠征により生まれたヘレニズム文化の結晶といえます。



ウラルトゥ王国		都市名	スケジュールと見どころ/お食事と宿泊地
1	千歳羽田		スーツケース無料託送サービス 自宅～空港 ■午後、千歳空港より、航空機にて羽田空港へ。 ■夜、羽田よりターキッシュエアウエイズにて、イスタンブールへ[21:45発]。 ☒☒☒[機中泊]
2	イスタンブール カルス (アニ遺跡)		■午前、イスタンブール到着後、国内線に乗継ぎ、アルメニアの国境に近いカルスへ[10:35着]。 ■着後、古代アルメニア王国の壮大な世界遺産アニ遺跡へご案内します。 ☒☒☒☒[カルス泊]
3	カルス ドゥバヤジツ (アララット山)		■午前、『ノアの方舟伝説』を残す名峰アララット山[5165m]の麓、ドゥバヤジツへ。 ■着後、ドゥバヤジツ市内観光。 ◇17世紀のクルド人王のイサク・パシャ宮殿 ◇ノアの方舟発見と話題になった発掘跡 ☒☒☒☒[ドゥバヤジツ泊]
4	ドゥバヤジツ ヴァン湖		■午前、トルコ最大の湖・ヴァン湖へ。 ■着後、ヴァン湖とその周辺の観光です。 ◇岩山に建つ古代ウラルトゥ時代のヴァン城 ◇ホシャップ城[外観] ◇古代ウラルトゥ王国のチャウシュテペ城 ≪古代ウラルトゥ王国の都・ヴァン湖に連泊です≫ ☒☒☒☒[ヴァン湖泊]
5	ヴァン湖 (アクダマル島)		■引き続き、ヴァン湖とその周辺の観光です。 ◇ヴァン湖に浮かぶ「神秘の島」アクダマル島 ◇聖書の物語の彫刻やフレスコ画が美しいアルメニア正教会の聖十字架教会 ◇ヴァン大学獣医学科が管理するヴァン猫研究所に立ち寄ります。 ☒☒☒☒[ヴァン湖泊]
6	ヴァン湖 アハラット ハサンケイフ マルディン		■午前、歴史を感じさせる建物が並び、エキゾチックな雰囲気のマールディンへ。 ■途中、湖畔のアハラット墓石群遺跡に立寄りします。 ■午後、マルディン近郊のダム建設での水没に伴いティグリス河畔に移築されたかつての古代都市ハサンケイフを訪れます。 ≪中世都市・マルディンに連泊です≫ ☒☒☒☒[マルディン泊]
7	マルディン		■午前、マルディン市内観光。 ◇ガラ・メソポタミア遺跡とネクロポリス ◇サフラン色のザフラン修道院(ダイル・アツァファラーン修道院) ◇旧市街散策 ☒☒☒☒[マルディン泊]
8	マルディン ネムルート山麓		■午前、世界遺産ネムルート山国立公園へ。 ■ネムルート山周辺の古代遺跡の観光へ。 ◇「女たちの記念墓」カラクシュ霊廟古墳 ◇「旧キャプタ城」イェニ・カレ(外観) ◇コンマゲネ人の夏の都・エスキ・カレ(アルサメイア遺跡) ☒☒☒☒[ネムルート山麓泊]
9	ネムルート山 シャンルウルファ		■早朝、山頂にて神々の石像の首が残るコンマゲネ王国の墳墓を朝日と共にご覧いただきます。 ■その後、預言者アブラハムゆかりのシャンルウルファへ。 ■途中、2019年から発掘されているカラハン・テペを見学します。 ≪シャンルウルファに連泊です≫ ☒☒☒☒[シャンルウルファ泊]
10	シャンルウルファ (ギョベクリ・テペ)		■午前、シャンルウルファ市内観光です。 ◇アブラハム生誕洞窟 ◇聖なる池 ◇シャンルウルファ考古学博物館 ◇エデッサ・モザイク博物館 ■午後、メソポタミア文明よりも7千年も古い文明の遺跡世界遺産ギョベクリ・テペ神殿遺跡を見学します。 ☒☒☒☒[シャンルウルファ泊]
11	シャンルウルファ ガジアンテップ		■午前、美食の町・ガジアンテップへ。 ■途中、ゼウグマ遺跡に立ち寄りします。 ■着後、美しいモザイクが必見のゼウグマ・モザイク博物館を見学します。 ■昼食は、「ガジアンテップ料理芸術センター」にて、トルコの郷土料理をお召し上がりください。 ■午後、ターキッシュエアウエイズにて、イスタンブールを経由し、帰国の途へ[20:40発]。 ☒☒☒☒[機中泊]
12	イスタンブール 羽田		■羽田到着[19:20着]。入国審査・税関検査ののち、ホテルシャトルバスにてホテルへ。 ☒☒☒☒[羽田空港近郊泊]
13	羽田 千歳		■午前、国内線にて、千歳空港へ。 ■千歳空港到着後、解散。 スーツケース無料託送サービス 空港～自宅 ☒☒☒☒

人類最古の遺跡 カラハン・テペ

ギョベクリ・テペから南東へ約30km離れたカラハン・テペはギョベクリ・テペより1000年も古く、大規模であるとみられています。2023年9月の発掘では、この時代最大の人間の彫像が発掘されました。高さ2.45mのこの彫像は、ベンチの上で地面にしっかりと固定されており、リアルな表情を持つ先史時代の芸術の最も印象的な例のひとつと言えます。座っている男性像は、肋骨、背骨、肩の骨が強調され、死者を連想させます。同じ場所には、ベンチの前に置かれたハゲタカの彫刻があり、その上に残された石板も発見されました。これまでの発掘調査では、ギョベクリ・テペの遺跡と類似した記念碑的建造物も発見されています。

